

畜産収益力向上緊急支援リース事業

【7, 041百万円】

対策のポイント

畜産経営における飼料自給率や生産性の向上、飼料生産受託組織等の経営高度化に必要な機械のリース方式による導入を支援します。

<背景／課題>

- ・ 今般の経営所得安定対策の見直しの議論において、食料自給率・自給力の向上を図るため、飼料用米等の本作化を進め、水田のフル活用を図ることとしております。
- ・ このような中、増産が見込まれる飼料用米等の自給飼料の利用を拡大し、輸入飼料の価格の変動等の影響を受けにくく、競争力を有する収益力の高い畜産経営の確立を図ることが課題となっています。

政策目標

- 飼料用米の利活用の推進等による飼料自給率の向上
(26% (平成20年度) → 38% (平成32年度))

<主な内容>

- ① 畜産経営における飼料用米等を活用した飼料自給率や生産性の向上に必要な機械
 - ② 飼料生産受託組織等の経営の高度化に必要な機械
- のリース方式による導入について支援を行います。

補助率：定額（事業実施主体へは①については1／3、②については1／2）

交付先：(独) 農畜産業振興機構

事業実施主体：(独) 農畜産業振興機構による公募

お問い合わせ先：

①の事業 生産局畜産企画課（03-3501-1083）

②の事業 生産局畜産振興課（03-3502-5993）

畜産収益力向上緊急支援リース事業

【平成25年度補正：7,041百万円】

補助率：機械代相当額の1/2または1/3以内
事業実施主体：農業者の組織する団体等

【課題】

- 水田を効率的に活用し、食料自給率・食料自給力の向上を図る観点から、需要の見込める飼料用米等の生産体制を強化することと併せて、飼料用米等の使い手である畜産側の利用体制を強化することが重要。
- このような中、飼料用米等を活用した飼料自給率の向上、生産性の向上等に資する機械投資を促進し、配合飼料価格の変動等の影響を受けにくく、競争力を有する収益力の高い畜産経営の確立を図ることが喫緊の課題。

【対応】

- 飼料用米の拡大に対応した畜産側の利用体制の強化に資する機械（米粉砕機、飼料保管タンク、混合機等）のほか、家畜の生産性の向上に資する機械等の導入を支援し、畜産の収益力向上に資する。

(例)

飼料自給率・生産性の向上



米粉砕機



飼料保管
タンク



自動給餌機



汎用型(稲、トウモロコシ等
に活用)飼料収穫機



混合機



飼料用米・エコフィードなどの利活用や畜舎作業の省力化に必要な自動給餌、飼料保管などのための機械等を導入

刈取、細断・積込、梱包、ラッピング・貯蔵に必要な高性能な自給飼料生産・調製機械を導入

